PUBLIC RELATIONS KAMIKOANI
広報 かみこあに
平成25年 9月号
No.656

新たな門出を祝して
成人式

主な内容

2P～　KAMIKOANIプロジェクト秋田
9P　敬老会　ご案内
10P～11P　生涯学習センターだより
13P　健（検）診日程

「いいこと」「いいもの」「いい出会い」

KAMIKOANIプロジェクト オープニングイベント

8月10日、八木沢集落の棚田舞台でKAMIKOANIプロジェクト秋田2013「オープニングイベント」が行われました。

プロジェクト実行委員会の会長である村長は「昨年は、ここから2012大地の芸術祭の飛び地開催として、情報がメディアを通して発信されました。上小阿仁村の限界集落といわれた八木沢が、大きくクローズアップされ、9、000人もの人々が心なごむ豊かな自然や、復活された八木沢番楽、八木沢分校など、地域を活かした現代アートによって新しい価値を生み出すことができたと思います。そして何より、集落に住むみなさんのやさしさと村民の協力によって、あたたかく楽しくイベントを開催できましたことが2013年のKAMIKOANIプロジェクト秋田につながってきています。

オープニングに先だって行われたワークショップには暑い中、多数のボランティアの方々に参加を頂き、汗でぐっしょりとなりながらも会場の整備や作品の制作に御協力を頂き本当にありがとうございました。関係者一同厚く感謝を申し上げます。この企画は昨年に引き続き、秋田公立美術大学の芝山昌也准教授が総合プロデューサーを務め、地域の文化を守り、新しい価値を見出すために取り組んでいるアートプロジェクトです。今年は作品の数、制作の先生も倍近くとなり、思いを込めた作品が展示されました。若くて意欲的な現代アートの作品は、元気のもと、幸せのもととなり、厳しさをのりこえたたたずむ八木沢の自然とともに、訪れる人の心のセンサーに働き、心の養分となり新しいものが芽吹く大切な要素があると信じています。

8月10日から10月14日まで66日という長い期間となりますが、期間中、さまざまなイベントを企画しておりますので、2度、3度、足を運んで楽しんでいただければと思います。

また、村の食材を生かした軽食カフェや新鮮な野菜の直売所などイベント期間中の準備も進めています。ご来場の皆様には緑の自然から生まれたばかりの酸素と、ミネラル豊富な湧水が山からしみでてくるこの八木沢で、「いいこと」「いいもの」「いい出会い」が生まれ、たくさんの人々が繋がってほしいと願いを込めて、この舞台を用意いたしました。地域の魅力の発展と、そしてまた上小阿仁村の夏から秋を心ゆくまで楽しんでいただくことをご期待申し上げます」とあいさつし、プロジェクトの芝山ディレクターや出展作家、ご協力いただいた皆様に感謝を述べました。

続いてプロジェクトのディレクターである秋田公立美術大学の芝山昌也准教授が「今年も八木沢にある素材や風景を使って進めています。今年は、佐藤良蔵さんと上小阿仁新聞社さん、この2つの象徴的な被写体をポスターにしました。昨年は風土や風景に焦点をあてていましたが、今年は人やつながりを広めていこうというねらいを込めています。そういう意味で、今回はよりアーティストの方に地域に入っていただこうという思いから2会場を設けました。八木沢会場は昨年と同様に展開しておりますが、旧沖田面小学校でアート・イン・レジデンスという事業を新規で始めました。5名の作家が会場をアトリエとして、沖田面地区に滞在して1カ月間かけて作品を制作します。本格的には9月1日から作品が展示されることとなっております。前半に来られて、また9月後半に来られて違う角度で展覧会をみることができます」と今年度事業の説明をしました。

オープニングイベントには、本プロジェクト実行委員会の副会長を務める秋田県観光文化スポーツ部の山添匠　文化振興課長のほか、17人の作家が参加し、集落めぐりの際に、それぞれの作品に寄せる思いを語りました。

出展作家と作品コンセプト

第1弾 八木沢集落 屋外作品

①阿部 乳坊（彫刻）「冬山 Winter Mountain」

初めて八木沢集落へ訪れたとき、冬の山の厳しさを想像せずにはいられなかった。八木沢へつづく曲がりくねった険しい道、崩れかかった家。
夏のこの芸術祭で冬の冷たさと力強さを出せたらと思う。マタギとクマの緊張感のある張りつめた瞬間を。

②長沢 桂一（織）「KAMIKOANI2013 つながる」

ちいさなわ つなげてつなげて
たくさんつなげてみんなつながる

「つながる」ことはそんなに難しくないし、つながっていくことが重なると、こういったキレイな「かたち」になります。

③市川 ヂュン（鉄彫刻）「Homeless Bath」

この作品は露天風呂としての機能を持った彫刻です。
移動可能なこの露天風呂彫刻は、場所によって様々な風景の中で入浴することができます。
今回、上小阿仁の空の下では、どんな風景が見れるでしょうか。

④芝山 昌也（彫刻）「開いた彫刻」「OPEN SCULPTURE」

八木沢は、北秋田市の根子集落から分かれて生まれた集落で、石の尖った部分は根子集落の方角を向いています。
そして、この場所は現在の旧八木沢分校が建つ前に、八木沢分校があった場です。
ここに住んでいる人にとって大切な場所の上に碑が建ち、重要な場所を指す。本来、野外にある造形物はそのような役割を担っていたのではないでしょうか。

⑤森（もり） 香織（かおり） （染色）
「Over the rainbow」

こちら側とあちら側
現在と未来
人と人

様々なものを繋ぐ橋。
この橋はそれぞれの行きたい場所に繋がっています。

---

⑥皆川（みながわ） 嘉博（よしひろ） （彫刻）
「源流 ―精霊の沢―」

上小阿仁村の八木沢集落は、何か神秘的な雰囲気が漂う場所である。振り向くと、精霊が住んでいるような気配さえする。

「源流ー精霊の沢ー」は、精霊たちの声を聞いてみたい、現代人の”おもい”の象徴である。

一人一枚、この布を紐に結んでください。そしてこの作品は完成します。

---

⑦福永（ふくなが） 竜也（たつや） （彫刻）
「転生」

巡り巡って生まれ変わる。
対等の立場で行われる勝負。
ヒトとクマの物語。

熊と人が同等の立場でいる関係性というものをテーマにしてみました。中を通っていただいて、人からいつの間にか熊のような扱いをうける、というものです。

物作品というよりは、ここを通っていく行動自体を作品にしています。

---

⑧草間（くさま） 彌生（やよい） （現代美術）
「南瓜」

国際的にも活躍する女性アーティストです。水玉がトレードマークで６０年代７０年代からずっとそういう作品を作っています。

作品は秋田市にある、外旭川サテライトクリニックの屋根の上にのっていたものをお借りしています。

幅４・５メーター、高さ５・６メーターの巨大な作品です。

⑨空気（くうき）　ひとし　（現代美術）
「風花～上小阿仁」

空気ひとしが工場長を勤める
空気工場の製品No.0001
―風花へかざぐるま型〉

風の強い土地で生まれた白いお花のような、かざぐるま。
風花の生えたところでは、風がよく見えます。
さて、ここではどんな風景が見えるでしょう。

⑩藤本（ふじもと）　尚美（なおみ）
「ウルシックカー」

日本・中国・韓国の国家間の摩擦と、それに対する漆文化圏における3国の深い関係性から、アイロニーを交えながら軽やかに平和をアピールしつつ今日も街を走り抜ける。

昨年度、秋田公立美術工芸短期大学卒業制作において、学長賞受賞作品。

第2回番楽サミットと上小阿仁伝統芸能イベント

8月25日、午前10時から生涯学習センターにおいて、第2回番楽サミットが開催されました。

番楽サミットは、昨年度上小阿仁若者会議が主催しましたが、今年度はKAMIKOANIプロジェクト秋田実行委員会が主催し開催しました。

はじめに、現代舞踏家で民俗学者でもある森繁哉氏から、八木沢番楽調査の報告があり、根子番楽と八木沢番楽の舞の違いに触れながら「住んでいる人たちの力や誇りを常に刺激し、見る人に地域の特徴や人々の営み、力強さを感じさせるために番楽はいきている。存続し、伝えていくことが私たちの大きな役割ではないか」と述べました。

基調講演後に行われたシンポジウムでは、「過去と現在をつなぐ作法」と題して活発な意見交換が行われました。村からは、小沢田駒踏み保存会の田中晟介氏と大林獅子踊り保存会の畠山義伸氏がパネリストとして出席し、それぞれの伝統芸能の過去と現在、後継者の問題などについて話をしました。

午後からの上小阿仁伝統芸能イベントは、開始後、突然の大雨により、残念ながら中止となりましたが、この日のために練習を積んできた、本海獅子舞番楽「平根講中」（由利本荘市）と八木沢番楽、森繁哉氏らによる現代舞踏が八木沢公民館で披露されました。それぞれの芸能・舞踏の披露に会場からは大きな拍手が送られました。

KAMIKOANIプロジェクト秋田
アーティストトーク

8月18日、旧沖田面小学校へ滞在し作品を制作している作家によるアーティストトークが開催されました。

トークには本プロジェクトの芝山ディレクターの他、沖田面集落で滞在制作を行っている、丸岡慎一さん、衣川泰典さん、船井美佐さんの3名が登場し、これまでの作品や、現在制作している作品について説明を行いました。

現在、旧沖田面小学校で滞在制作が行われていた作品は全て完成し、9月1日から本格的に公開されています。

京都大学交響楽団
美しき音の競演

8月22日、生涯学習センターにおいて、京都大学交響楽団の上小阿仁村公演が開催されました。

総勢100人を超す学生の奏でる音楽が学習センターに響き渡り、会場に詰めかけた多くの観客を魅了しました。

京都大学交響楽団は1916年に創立され、多くの著名な音楽家を輩出しており、伝統ある交響楽団です。創立当時から、学生のみで編成されており、年2回の定期演奏会や5年に1度の東京公演など、積極的な演奏活動が行われています。今回の演奏会は、8月20日から27日まで東北地方を巡る、夏の演奏合宿の一環として開催されました。

公演では、組曲『カルメン』（ビゼー 作）や『となりのトトロ』（久石譲 作）、『白鳥の湖』（チャイコフスキー 作）などの演奏の他、上小阿仁中学校吹奏楽部との合同演奏が行われました。

予定された曲目が終了すると、中学生代表から花束が贈呈され、会場からはアンコールを求める鳴り止まない拍手が送られました。アンコールに応えた学生たちからは、演奏中に「上小阿仁村の」「みなさん」「ありがとう」と書かれたプラカードを掲げる演出で、観客を楽しませました。

こあに号の利用について

村内と八郎潟駅間を、平日、朝・昼・夕の3回電話予約により運行しております。

利用については、次の点に注意しましょう。

・こあに号の乗降場所は、**集落バス停**です。

・上小阿仁ー八郎潟間は既定の路線で運行しています。路線以外への運行はできません。

みんなのこあに号

村内から八郎潟駅まで平日の朝・昼・夕とも電話予約により運行します。

●**利用料金（片道）**　おとな　1,000円
こども（小学生）　500円

●**運行時刻**　**（役場発）**
・朝便　午前7時20分
・昼便　午前11時30分
・夕便　午後4時00分

（八郎潟駅発）
・朝便　午前9時00分
・昼便　午後1時00分
・夕便　午後5時30分

●**電話予約方法**　朝便の利用は前日までの午後5時まで、昼又は夕便の利用は出発時間の2時間前までに電話予約してください。

上小阿仁村社会福祉協議会　☎0186(77)3058

二十歳の節目 成人式

――誓いを新たに――

8月14日、生涯学習センターにおいて、成人式が行われました。対象者27人のうち、26人が出席し、一人ひとりに村長から成人証書が手渡されました。

式で村長は、「成人を迎えた今、1人の大人として責任を負うことが義務付けられた。法律的にも自らの判断と行動には、社会人として果たすべき責任と義務が求められている。二十歳の節目を迎えた皆さんには、いいことばかりではなく、多くの困難と挫折もあると思うが、それに負けない柔軟な発想と高い志を持って、若者らしくエネルギッシュな行動で乗り越えていただきたい。また、家族や周囲の人たちに感謝の気持ちを持ち続け、心優しい人になってほしい」とあいさつしました。

来賓の武石村議会議長、北林県議会議員の祝辞の後、中学時代の恩師である齊藤ちよみさんが、共通の思い出である卒業式の歌から「皆さんは一人ひとりが素晴らしい翼をもっています。その翼を、それぞれの生きる道の中で、自由に伸ばして、自由に色を付けて、輝かせて、これから大人になってほしい」と激励しました。

新成人を代表して、大沢駿さんは、「今まで、社会や周囲の大人から守られ、導かれてきた。大きな壁にぶつかることもあると思うが、自分自身の力で乗り越え、誰にも負けない、強く、優しい人間になる努力を惜しまない」と誓いを述べました。